

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

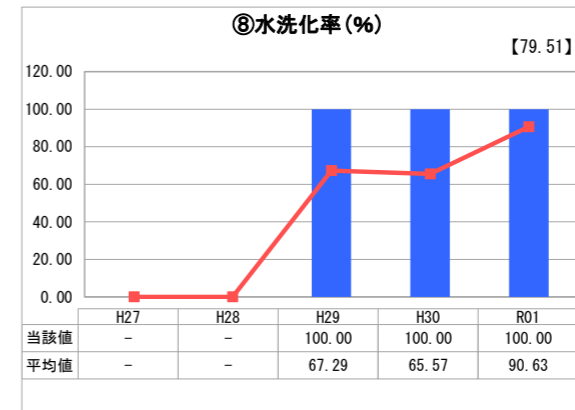
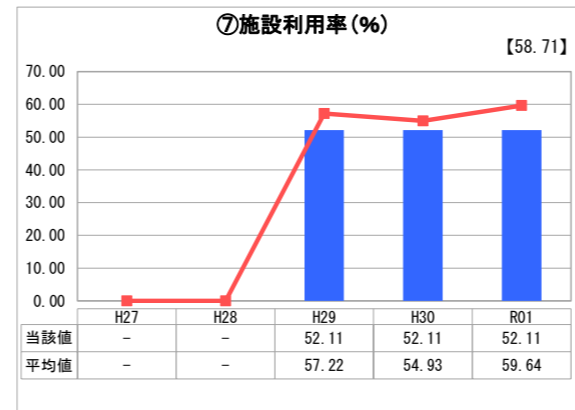
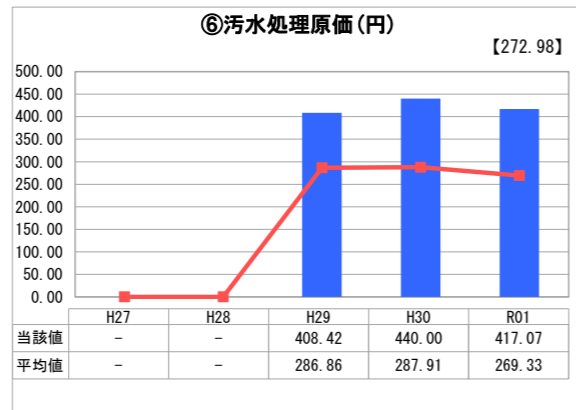
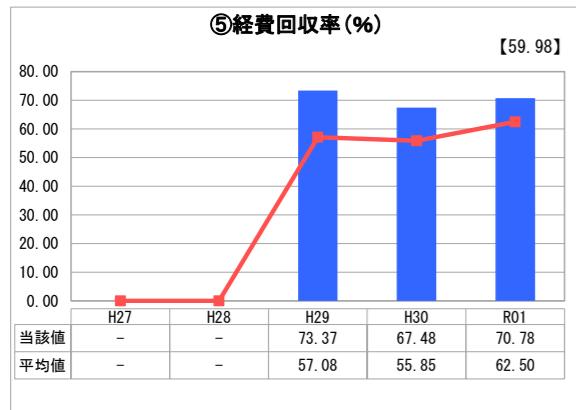
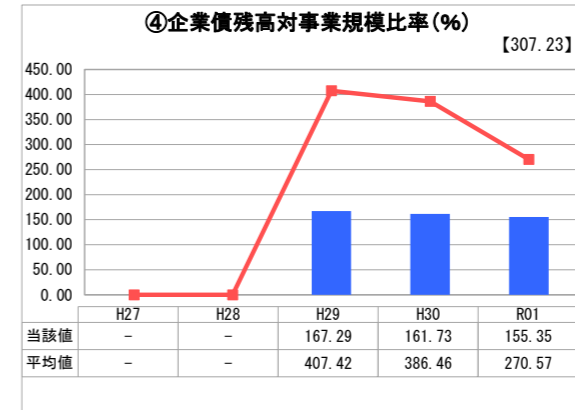
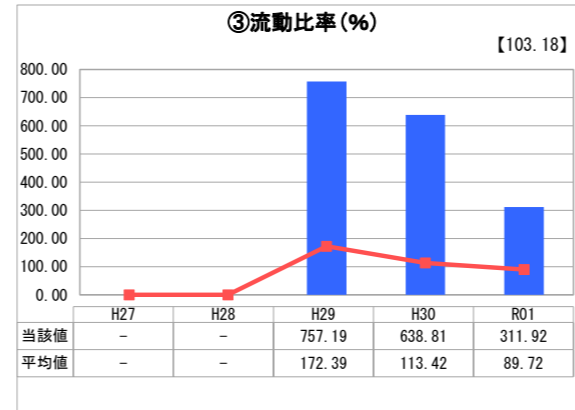
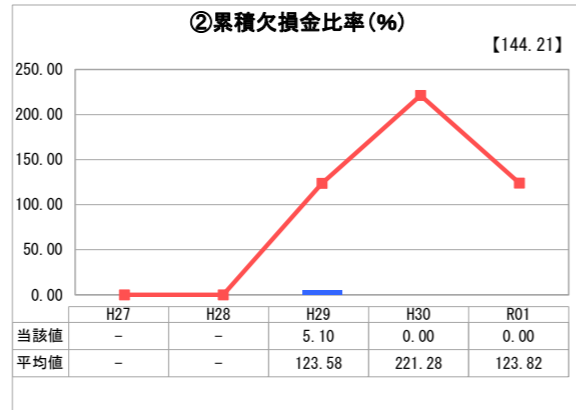
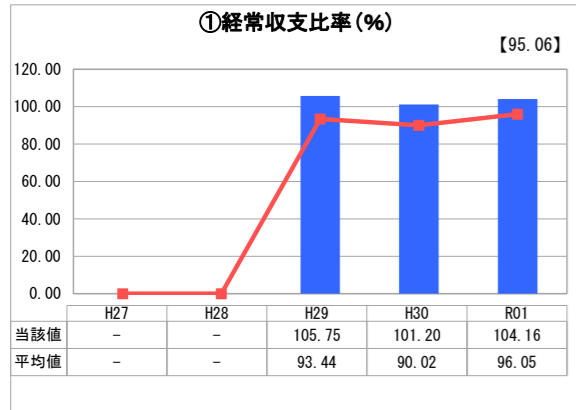
三重県 伊賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	42.03	0.75	100.00	5,500

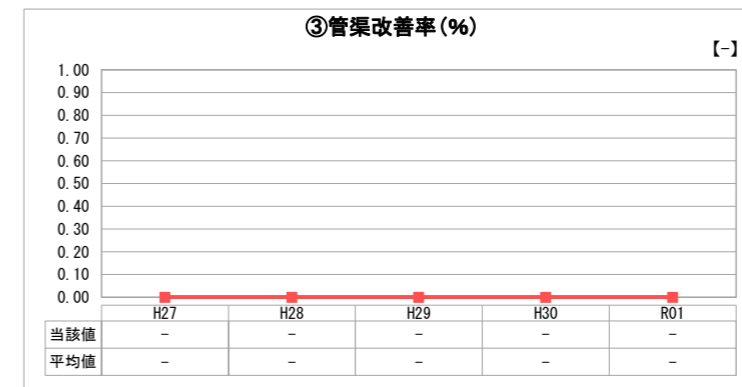
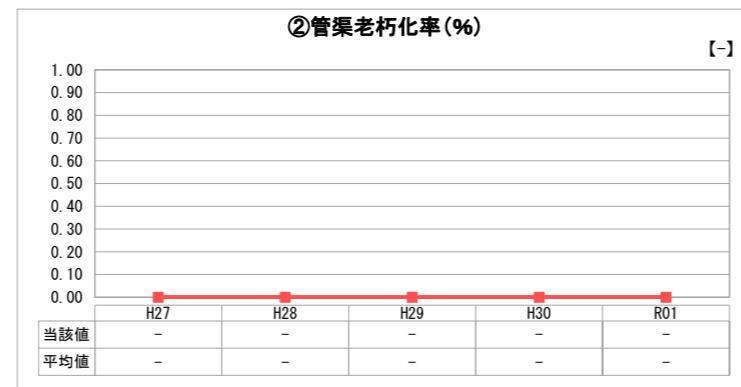
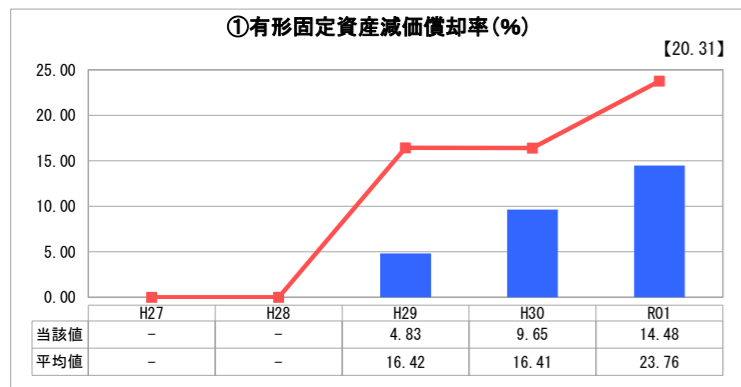
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
91,230	558.23	163.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
678	20.75	32.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%以上であり、単年度収支としては黒字を維持しているが、実態は一般会計繰入金に大きく依存している。  
 企業債残高対事業規模比率については、今後事業の面的拡大の計画は無いことから、引き続き低減傾向で推移していくと考えられる。  
 経費回収率については、類似団体平均値よりは高いものの、汚水処理費が使用料により賄われていないため、使用料の適正化を図っていく必要がある。  
 施設利用率については、類似団体平均値よりやや低い値で推移しているが、実際の処理水量より大規模な能力を有する処理槽を使用している世帯が多いこと等により、低い数値に留まる傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

現在、約240基の市町村設置型合併浄化槽を設置管理しており、資産の老朽化度合を示す有形固定資産減価償却率は類似団体平均値より低い値であるが、最も古いもので供用開始から15年以上が経過しており、設備の老朽化が進んでいることから、保守点検結果に基づき必要な修繕を行っていく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は黒字だが、一般会計繰入金に依存しており、使用料収入で汚水処理費が賄えていない状況である。  
 当該事業は青山地域の一部のみで実施されており、今後面的に拡大する予定が無いため、既存施設の維持管理が主体となるが、設備の老朽化に伴い修繕等に係る経費の増加が見込まれることから、経営は厳しさを増すものと予想される。  
 このため、安定的な事業運営に向けた経営基盤強化と財政マネジメントの向上のため、伊賀市下水道事業経営戦略に基づき、本年度に着手した使用料の見直し検討等の取り組みを引き続き進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。